SONY

4-268-384-**02** (1)

テレビスタンド

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたが示されています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

SU-B551S
SU-B461S
SU-B401S

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、火災・感電・転倒・落下などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために安全のための注意事項を必ずお守りください。

警告表示の意味

取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告　この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・転倒・落下などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意　この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災　感電　注意

行為を禁止する記号

禁止　分解禁止

行為を指示する記号

指示

対応モデル

このテレビスタンドはソニー製の下記指定機器専用です。
指定機器以外にはご使用にならないでください。

	地上・BS・110度CS デジタルハイビジョン 液晶テレビ
SU-B551S	KDL-55HX920/55HX820
SU-B461S	KDL-46HX920/46HX820/46NX720
SU-B401S	KDL-40NX720

本機のシリアルナンバーは、テレビスタンド後面の位置に記載されています。

お客様へ

⚠警告　火災　感電

下記の注意事項を守らないと火災・感電・転倒・落下などにより死亡や大けがの原因となります。

転倒防止の処置をする

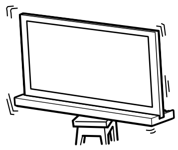
転倒防止の処置をしないと、テレビが転倒し、けがの原因となることがあります。スタンドと台などをつないで転倒防止の処置を行ってください。

注意

安定している台の上に載せる

不安定な台の上に載せるとバランスを崩して転倒し、落下によるけがや破損の原因となることがあります。

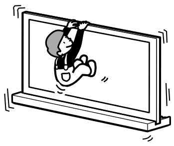
注意



スタンドにテレビを取り付けた状態で、ぶら下がらない

テレビスタンドが転倒したり、テレビが落下して、けがの原因となることがあります。

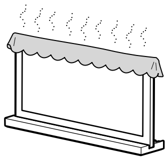
禁止



テレビの通風孔をふさがない

テレビの通風口はテレビの確実な動作と内部の過熱を防ぐために必要です。

注意



- テレビの上に布をかけて通風孔をふさがないでください。
- 通風口に液体や固いものを入れないでください。

テレビスタンドやACパワーアダプターの上に花瓶や植木など液体が入ったものを置かない

電源コードをつないだテレビを風呂場、洗面台、台所、洗濯機、濡れたところやプールなどの近くで操作しない

テレビを直射日光が当たる場所や、熱器具や暖房器の通風口などの近くに設置しない

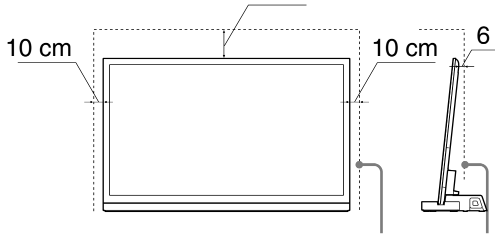
テレビ内部が過熱し、外装がゆがんだり故障の原因となります。

テレビを空調設備に直接あたる場所に設置しない

内部に水が入り故障の原因となります。

テレビの周りに空気循環用の間隔を空ける

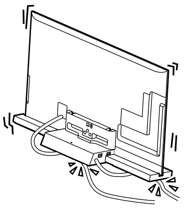
下記のような十分な間隔を設けてください。



テレビの電源コードおよび接続ケーブルをはさまないようにする

- 同梱されている電源コードはその機種専用のものです。他の機器では使用しないでください。
- テレビをテレビスタンドに取り付けるときは、電源コードおよび接続ケーブルをはさみこまないようにしてください。
  電源コードおよび接続ケーブルに傷がついて火災や感電の原因となります。

禁止　注意



- テレビスタンドを動かすときは、電源コードおよび接続ケーブルを踏まないようにしてください。
  電源コードおよび接続ケーブルに傷がついて火災や感電の原因となります。
- テレビの電源コードおよび接続ケーブルを足でひっかけると、テレビスタンドが転倒し、けがの原因となることがあります。
- 電源コードを抜くと、テレビスタンドの電源が切れます。

付属のACパワーアダプターを使用する

ACパワーアダプターのあるテレビでは、電源コードを含め付属以外のものを使用すると、火災や感電の原因となります。

ACパワーアダプターのあるテレビでは、ACパワーアダプターに布団などをかけたり、上にものを置いたりした状態で使わない

高温となるため、せまい空間での使用を避けて、熱がこもらないよう充分なスペースを空けてください。
熱がこもってケースが変形することがあります。また、火災や、やけどの原因となります。
以下の使用方法を必ず守って、本機をお使いください。

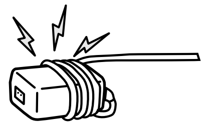
禁止

- ACパワーアダプターのまわりに物を置かない。
- ACパワーアダプターを布などでおおわない。
- 2つ以上のACパワーアダプターを重ねない。
- ACパワーアダプターを箱などに入れない。

次のページにつづく ⇨

ACパワーアダプターのコードや電源コードをACパワーアダプターに巻き付けない

断線や故障の原因となることがあります。



注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

指定機器以外の物を取り付けない

このスタンドは指定機器専用です。指定機器以外の物を取り付けると、落下によるけがや破損の原因となることがあります。特に記載のない場合は、この取扱説明書内ではKDL-40NX720のイラストを使用しています。

テレビを固定する

付属のネジでテレビをテレビスタンドに固定してください。固定しないと、テレビスタンドが転倒したり、テレビが落下して、けがの原因となることがあります。

設置上のご注意

設置場所によってはスタンドの変形や傾きが生じることがありますので下記のことをお守りください。

– 畳、じゅうたん、カーペットなどの上に置く場合は板など固いものを敷く
– 直射日光が当たる場所や、暖房器具のそばに置かない
– 高温多湿の場所や屋外に置かない

使用上のご注意

お手入れについて

やわらかい布で、から拭きしてください。汚れがひどいときは中性洗剤を水で薄め、やわらかい布に含ませて軽く拭き、最後に乾いた布で軽くふいてください。アルコールやシンナー、ベンジンなどの化学薬品はスタンドの仕上げを痛めることがありますので、使わないでください。

設置は2人以上で行う

テレビをテレビスタンドに設置するときは、2人以上で行ってください。1人で行うと腰を痛めたり、けがの原因となることがあります。

スタンドの分解・改造は行わない

落下によるけがや破損の原因となります。

取り付け手順に従って、テレビをしっかりと取り付ける

ネジを確実に締めてください。
テレビがしっかり取り付けられていないと、テレビが落下し、けがの原因となることがあります。

テレビを取り付けるときには、手や指を傷つけないように注意する

- スタンドを持ち運ぶときは、ネック部分を触らないでください。
- テレビを取り付けるときは、手や指を傷つけないようにご注意ください。

電源について

- 長期間テレビスタンドを使用しないときは、電源プラグを必ず抜いてください。電源コードを抜くときは、電源プラグをしっかり握りコードを引っ張らないでください。
- 電源コードの交換は必ず販売店に依頼してください。

操作について

他の機器を接続する前に、テレビスタンドの電源を切り、電源プラグを抜いてください。

ステレオを聞くときのエチケット

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さめな音でも周囲にはよく通るものです。
窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。



商標について

本機はドルビー *1デジタルデコーダーおよびドルビープロロジック（II）アダプティブマトリックスサラウンドデコーダー、MPEG-2 AAC（LC）デコーダー、DTS*2デコーダーを搭載しています。

*1 ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、Pro Logic、"AAC"ロゴ及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
以下が米国AACパテントナンバーです。
Pat. 5,848,391; 5,291,557; 5,451,954; 5,400,433; 5,222,189; 5,357,594; 5,752,225; 5,394,473; 5,583,962; 5,274,740; 5,633,981; 5,297,236; 4,914,701; 5,235,671; 07/640,550; 5,579,430; 08/678,666; 98/03037; 97/02875; 97/02874; 98/03036; 5,227,788; 5,285,498; 5,481,614; 5,592,584; 5,781,888; 08/039,478; 08/211,547; 5,703,999; 08/557,046; 08/894,844

*2 米国パテントナンバー：5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,487,535 の実施権、及び米国、世界各国で取得済み、または出願中のその他の特許に基づき製造されています。
DTSおよび記号はDTS, Incの登録商標です。DTS Digital SurroundおよびDTSロゴはDTS, Incの商標です。製品はソフトウェアを含みます。© DTS, Inc. 無断複写･転載を禁じます。

本機は、High-Definition Multimedia Interface（HDMI®）技術を搭載しています。

HDMI、HDMI ロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標もしくは米国およびその他の国における登録商標です。

"BRAVIA"はソニー株式会社の商標です。

DOLBY DIGITAL PRO LOGIC II

dts™ Digital Surround

HDMI

S-FORCE PRO FRONT SURROUND

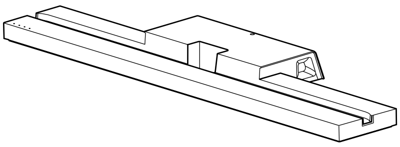
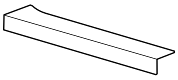
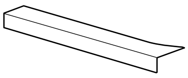
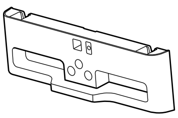
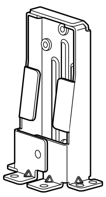
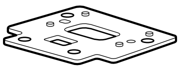
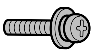
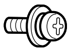
S-master Digital Amplifier

AAC

テレビスタンドを箱から取り出すときのご注意

テレビスタンドをしっかり持って気をつけて取り扱ってください。

手順1：部品を確認する

名称	数量
スタンド 	1
リアカバー L* 	1
リアカバー R* 	1
ジョイント 	1
ネック 	1
ネックスペーサー ** 	1
テレビ固定ネジ（PSW5×16）（×3） ジョイント固定ネジ（PSW5×16）（×3） 	6
ネックネジ（PSW4×12）（×4） 転倒防止取付ネジ（×1） 	5
ACパワーアダプター（ACDP-001）	1
電源コード	
High Speed HDMIケーブル	1
取扱説明書	1
保証書	

* SU-B551Sモデルのみ。

** SU-B551S/461Sモデルのみ。

⚠警告

機器などに電源コードをはさみこむと、ショートして感電する恐れがあります。また、電源コードや接続ケーブルを引っかけると、転んだりスタンドが倒れたりしてけがの原因となることがあります。

テレビの設置場所を決め、あらかじめテレビスタンドを置く。

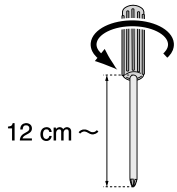
テレビは重いので、取り付ける前に場所を決め、テレビスタンドを組み立ててください。

テレビ本体付属の取扱説明書を参照して、テレビからテーブルトップスタンドをはずしてください。

手順2:テレビを取り付ける

組み立てる前に

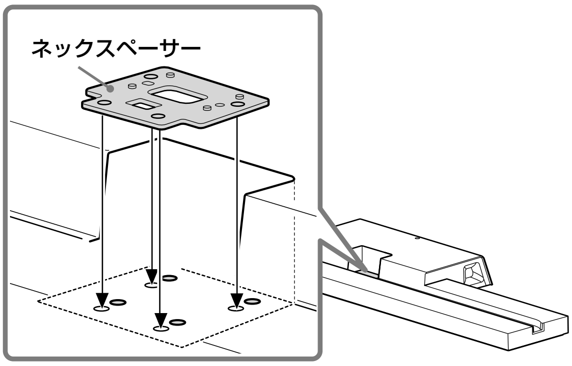
- 組み立てる前にネジに合った⊕ドライバーをご用意ください。
- 電動ドライバーを使用する場合、締め付けトルクはおよそ1.5 N·m {15 kgf·cm} に設定してください。



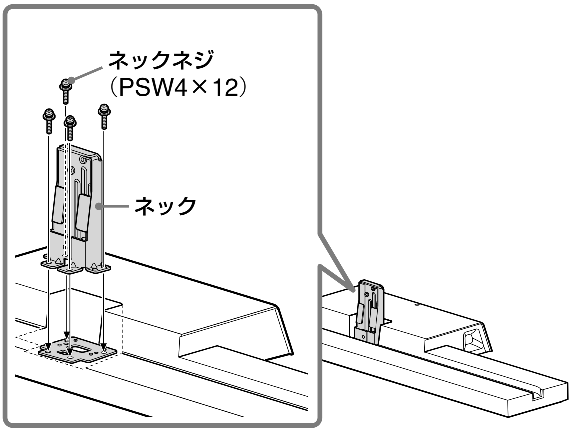
1 **ネックスペーサーをテレビスタンドに置く。**

ネックスペーサーはネックとテレビの高さを調整するためのものです。必ず取り付けてください。

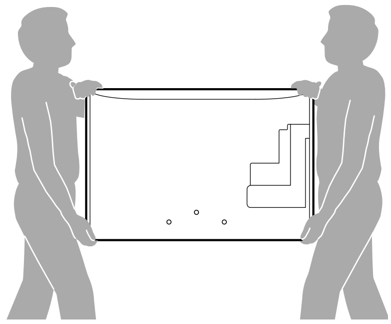
KDL-55HX820/46HX820/46NX720のみ:



2 **テレビスタンドにネックとネックスペーサー(KDL-55HX820/46HX820/46NX720のみ)を付属のネックネジ(PSW4×12)4本で固定する。**

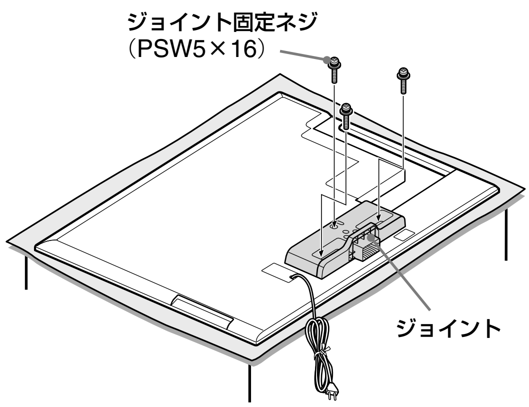


3 **テレビを持つときは下図のように持つ。**



4 **付属のジョイントをテレビの裏面に付属のジョイント固定ネジ(PSW5×16)3本で固定する。**

付属のジョイントを上にスライドさせて取り付けてください。



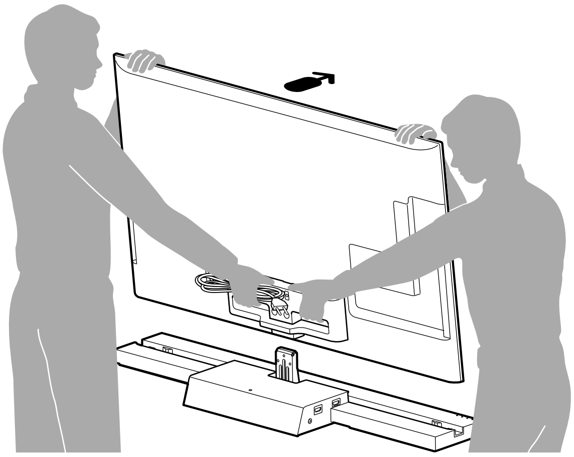
ご注意

- 外したネジはきちんと保管してください。
- テーブルトップスタンドを画面から外すときは、画面よりも広い台の上に画面の正面を下にして置いてください。
- 液晶画面が傷つくのを防ぐため、台の上にやわらかい布を敷いてください。
- 画面の表面に圧力や衝撃を与えると、液晶画面が割れたり、傷つく場合があります。
- 画面とテーブルトップスタンドを同じ水平面上に置くと、不安定になり画面を傷つけることがあります。

次のページにつづく ⇨

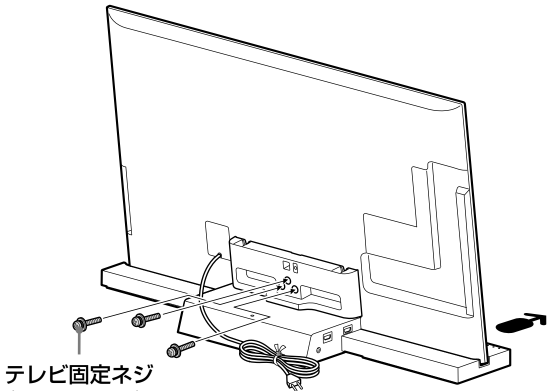
5 テレビをテレビスタンドに取り付ける。

テレビをテレビスタンドの溝に設置してください。

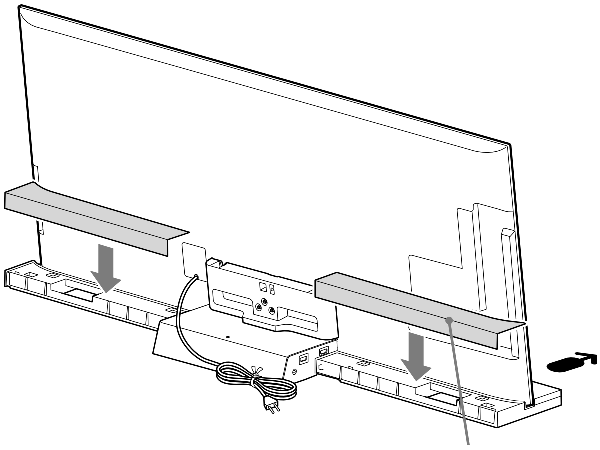


マークの矢印は、テレビスタンドの正面方向を示します。

6 テレビとテレビスタンドを付属のテレビ固定ネジ（PSW5×16）3本で固定する。

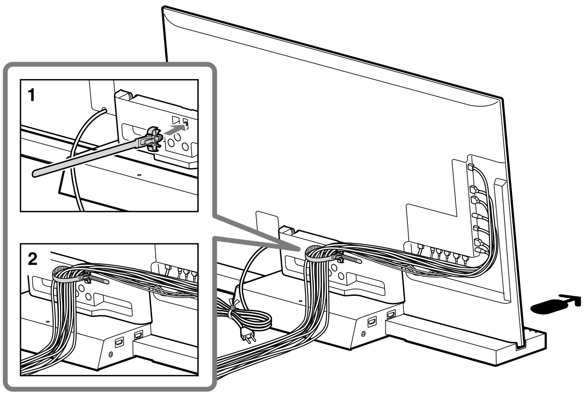


7 リアカバーをテレビスタンドに取り付ける。（SU-B551Sモデルのみ）



8 ケーブル類をまとめる。

テレビに付属のワイヤークランパーでまとめてください。



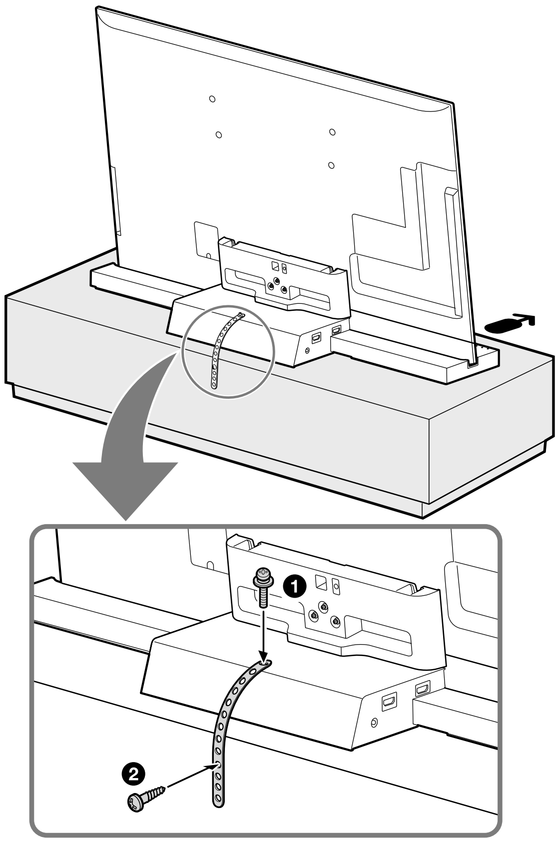
ご注意

- 電源コードを他のケーブル類と一緒にまとめないでください。

手順3:転倒防止の処置をする

⚠警告

転倒防止の処置をしないと、テレビスタンドが転倒して、大けがの原因となることがあります。転倒防止の処置を行ってください。

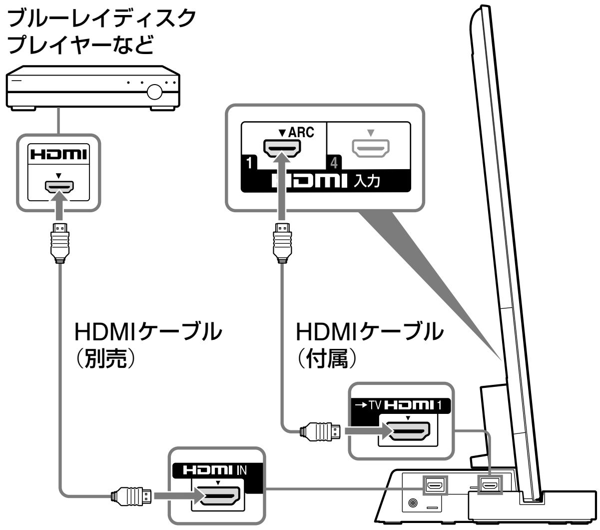


❶ 転倒防止用ベルト(テレビに付属)をスタンドに転倒防止取付ネジ(付属)でしっかりと留める。
❷ 台に木ネジ(テレビに付属)でしっかりと留める。

手順4:テレビやレコーダーをつなぐ

テレビのHDMI IN 1端子とテレビスタンドをHDMIケーブルでつなぐ。

"ブラビアリンク"に対応した機器をHDMIケーブルでつなぎ、テレビで接続機器の設定をすると、便利な「"ブラビアリンク"機能」が使えます。



ご注意

- パソコンをHDMIにつながないでください。
- 本機はARC(オーディオリターンチャンネル)機能に対応しています。ARC機能に対応しているテレビのHDMI入力1端子につないだ場合、光デジタル音声コードの接続は不要です。
- 本機をARC機能に対応しているテレビのHDMI入力端子には「ARC」と表記されています。それ以外のHDMI入力端子につないでも、ARC機能は働きません。
- ARC機能はHDMI機器制御機能がオン(入)のときに有効です。

ちょっと一言

- 本機の電源がオフ(スタンバイ)のときでも、テレビにHDMI信号が伝送されて、接続機器の映像と音声をテレビで楽しむことができます。

HDMI端子の接続について

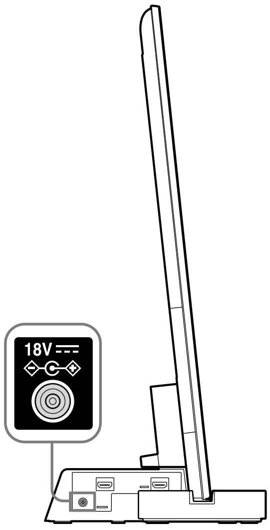
- High Speed HDMIケーブルをご利用ください。Standard HDMIケーブルの場合、1080pやDeep Color、3Dの映像が正しく表示できない場合があります。
- 認証を受けたHDMIケーブルをおすすめします。
- HDMIケーブルでつないだ機器の映像がきれいに映らなかったり、音が出ないときは、つないだ機器側の設定をご確認ください。
- HDMI端子からの音声信号(サンプリング周波数、ビット長など)は、つないだ機器により制限されることがあります。
- 接続機器からの音声出力信号のチャンネル数やサンプリング周波数が切り換えられた場合、音声が途切れることがあります。

次のページにつづく ⇨

- 接続機器が著作権保護技術（HDCP）に対応していないために、本機のHDMI TV出力端子の映像や音声が乱れたり再生できない場合があります。このような場合は、接続機器の仕様をご確認ください。
- HDMI-DVI変換ケーブルの使用はおすすめしません。
- 本機はDeep Color、“x.v.Color”および3D伝送に対応しています。

手順5：電源コードをつなぐ

他の機器やテレビをすべてつないでから、本機ACパワーアダプターの電源コードを壁のコンセントにつないでください。



ご注意

- 本機は、コンセントの近くでお使い下さい。ご使用中不具合が生じた時は、すぐにコンセントから電源プラグを抜き、電源を遮断して下さい。

手順6:テレビの設定を行う

❶ 「HDMI機器制御」機能を「入」にする。
テレビのリモコンのHOMEボタンを押して、次のようにメニューを選択する。
設定 > 外部入力設定 > HDMI機器制御設定 > HDMI機器制御 > 入

❷ 「スピーカーの切換」メニューから「オーディオシステム」に設定する。
テレビのリモコンのリンクメニューボタンを押して、次のようにメニューを選択する。
スピーカーの切換 > オーディオシステム

ご注意

- ❶と❷の設定完了後、電源(I)ランプは緑に点灯します。

ちょっと一言

- **シーンセレクト機能**

本機はテレビの音設定と自動的に同期し、シーンに合ったお好みの音を選ぶことが出来るシーンセレクト機能が一緒に働きます。
テレビの音設定を変えて音を変更してください。



- **視聴位置自動調整**

テレビの「外部機器連携」を「入」に設定した場合、本機は視聴位置に従って、左と右のスピーカーの音量バランスを調整します(テレビ側の設定)。
「視聴位置自動調整」を設定するには、HOMEボタンを押し、設定 > 機器設定 > 視聴位置自動調整 > お好みの選択になります。

困った時は

音について

音が出ない:
- HDMIケーブルの接続を確認する。
- 「HDMI機器制御」と「オーディオシステム」の設定を手順6(11ページ)で確認する。

ヘッドフォンを使用する:
- 「スピーカー出力」設定の「オーディオシステム」を「テレビスピーカー」に切り替える。

外部機器を用いてデジタル放送の二重音声を楽しむ:
- 放送によって音声が切り替わらない場合、テレビの「光音声出力設定」を「オート」から「PCM」に切り替える。

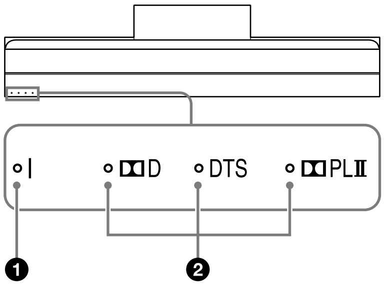
テレビのデジタル放送の二重音声を楽しむ:
- 放送によって音声が切り替わらない場合、外部機器の「オーディオ出力設定」を「PCM」に切り替える。

ランプについて

テレビの電源が入っているのに、テレビスタンドの電源(I)ランプが点かない:
- ACパワーアダプターの電源コードがしっかり差し込まれているか確認する。
- ソニーカスタマーサポートセンターにご相談ください。

電源ランプが赤に点滅する:
- 不具合が生じた場合は、ランプが何回点滅したか確認しソニーカスタマーサポートセンターにご相談ください。

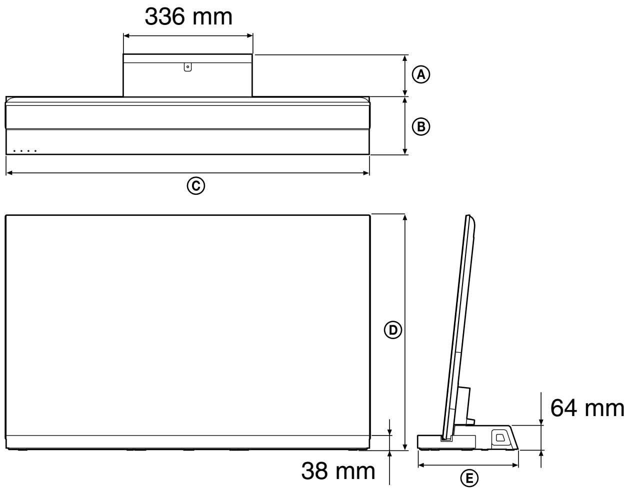
ランプ



1. 電源(I)ランプ
   以下のように点灯します:
   緑:テレビスタンドの電源が入っているとき。(「スピーカー出力」が「オーディオシステム」に設定されています。)
   消灯:テレビスタンドがスタンバイモード中か電源が切れているとき。

2. 音声フォーマットランプ
   本機に入力されている音声フォーマットに従って点灯します。
   D:Dolby Digital
   DTS
   PL II:Dolby Pro Logic II

主な仕様



		SU-B551S	SU-B461S	SU-B401S
寸法(mm)	Ⓐ	102	118	110
	Ⓑ	190	159	151
	Ⓒ	1,276	1,079	944
	Ⓓ	55HX920: 796	46HX920: 686	–
		55HX820: 798	46HX820: 687	–
		–	46NX720: 687	40NX720: 612
	Ⓔ	292	277	261
スタンド質量		6.3 kg	5.6 kg	4.9 kg

アンプ部

実用最大出力(非同時出力、JEITA*)	フロント部:10 W + 10 W、8 Ω、1 kHz、THD 1%未満 サブウーファー部:20 W、6 Ω、100 HZ、THD 1%未満 * JEITA(電子情報技術産業協会)による測定値です。

HDMI部

コネクター	HDMI™コネクター
ビデオ入出力	720 × 480p (60Hz) 16:9 1280 × 720p (60Hz) 16:9 1920 × 1080i (60Hz) 16:9 1280 × 720p (50Hz) 16:9 720 (1440) × 480i (60Hz) 4:3 720 (1440) × 480i (60Hz) 16:9 720 (1440) × 576i (50Hz) 4:3 720 (1440) × 576i (50Hz) 16:9 1920 × 1080p (60Hz) 16:9 720 × 576p (50Hz) 16:9 1920 × 1080i (50Hz) 16:9 1920 × 1080p (50Hz) 16:9 1920 × 1080p (24Hz) 16:9 1920 × 1080p (30Hz) 16:9 1280 × 720p (24Hz) 16:9 1280 × 720p (30Hz) 16:9 Deep Color: 30bit/36bit
ビデオ入出力(3D)	1280 × 720p@59.94/60 Hz Frame packing 1920 × 1080i@59.94/60 Hz Frame packing 1920 × 1080i@59.94/60 Hz Side-by-Side (Half) 1920 × 1080p@59.94/60 Hz Side-by-Side (Half) 1280 × 720p@50 Hz Frame packing 1920 × 1080i@50 Hz Frame packing 1920 × 1080i@50 Hz Side-by-Side (Half) 1920 × 1080p@50 Hz Side-by-Side (Half) 1920 × 1080p@24 Hz Frame packing Deep Color:30bit/36bit
オーディオ入力	リニアPCM2ch/5.1ch/7.1ch Dolby Digital DTS MPEG-2 AAC どちらの信号も32、44.1、48 kHzに対応します。

フロントスピーカー部

スピーカー形式	2WAY 2DRIVER スピーカーシステム、バスレフ型
使用スピーカー	ウーファー:30 × 100 mm コーン型 × 1 トゥイーター:30 mmコーン型

サブウーファー部

スピーカー形式	サブウーファーシステム、バスレフ型
使用スピーカー	70 mmコーン型

本体

電源AC	100-240V、50/60 Hz

消費電力電気用品

安全法による表示:12 W

スタンバイ状態のとき:0.7 W以下

- 待機時消費電力:0.7 W
- デジタルアンプS-Master搭載によりアンプブロックの電力効率を85%以上に改善。

仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

よくあるお問い合わせ、解決方法などは
ホームページをご活用ください。 **http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口

フリーダイヤル……………… 0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話… 0466-31-2511

修理相談窓口

フリーダイヤル……………… 0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話… 0466-31-2531
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、
最初のガイダンスが
流れている間に
「200」+「#」
を押してください。
直接、担当窓口へ
おつなぎします。

FAX（共通） 0120-333-389 **受付時間** 月～金：9:00～20:00 土・日・祝日：9:00～17:00

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

http://www.sony.net/

Printed in Malaysia

4268384O2(1)